

ブラジル：ボルソナロ次期政権の閣僚人事の特徴

- 大統領選挙から約半月が経過し、ボルソナロ次期政権の閣僚人選が進む。11月15日までに9名の閣僚人事が確定。
- 政権内には3名の陸軍退役大将が入り、軍の影響力が拡大。汚職問題解決のため法務相にはモロ判事が内定。
- 開発銀行(BNDES)総裁にはレヴィ元財務相、ブラジル中銀総裁にはリベラル派エコノミストのネト氏が指名を受ける。
- レヴィ氏は民営化や国営銀行改革、ネト氏は中銀改革を主導。改革志向人材の登用は市場からの信認にも繋がる。

ボルソナロ次期政権の主要閣僚人事が明らかに

ブラジル大統領選挙の決選投票から約半月が経過し、2019年1月から発足するボルソナロ次期政権の主要閣僚の人選が進んでいます。11月15日までに9名の閣僚人事が確定したほか、経済改革を推進する経済チームの陣容も公表されています(図1)。

ボルソナロ次期政権の閣僚人事の特徴として、①「軍の影響力拡大」、②「汚職との決別」、③「専門家を外部から積極的に登用」という3つの点を挙げる事ができます。

まず、①に関しては、政権内では副大統領、大統領府安全保障室(GSI)長官、国防相のポストに3名の陸軍退役大将が就くことが決定しています。治安対策などの面で軍との関係が深まる事が予想されます。

②に関しては、法務相ポストにパラナ州連邦地裁のセルジオ・モロ判事が指名を受けました。モロ氏はルーラ元大統領に有罪判決を下した判事としても知られ、政界にまん延する汚職問題の解決を図ることが期待されます。

経済チームでは改革志向の外部人材を登用

ボルソナロ政権の経済政策を遂行する経済チームの人選では、政治的派閥にとらわれない外部人材の登用がなされています。今回、経済社会開発銀行(BNDES)総裁には第二次ルセフ政権で財務相として財政健全化を進めたジョアキン・レヴィ氏が、ブラジル中銀総裁にはリベラル派エコノミストとして知られるロベルト・カンポス・ネト氏(サンタンデル銀行取締役)が指名されました。

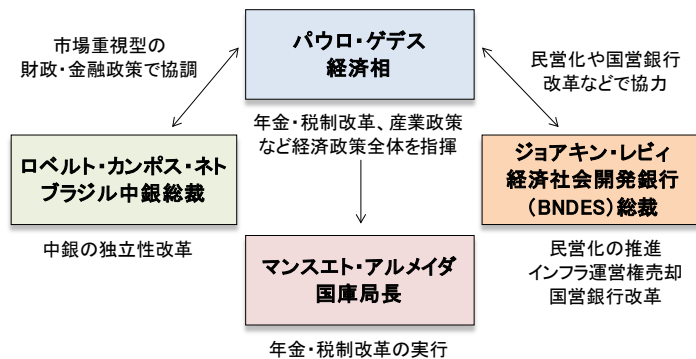
レヴィ氏は民営化やインフラ入札、国営銀行改革などの分野でゲデス経済相との協力が期待され、ネト氏は「総裁・理事の任期制導入」が検討されているブラジル中銀の独立性改革の主導役となりそうです(図2)。経済改革に前向きなリベラル派の外部人材登用は、ボルソナロ政権への市場からの信認にも繋がる可能性があります。

図1：ボルソナロ政権の主要閣僚人事

役職	人事	経歴
大統領	ジャイル・ボルソナロ	下院議員 元陸軍大尉
副大統領	ハミルトン・モウラン	陸軍退役大将
閣僚		
官房長官	オニキス・ロレンゾーニ	下院議員(DEM所属)
経済相 (財務・企画相)	パウロ・ゲデス	ヘッジファンド創業者
大統領府安全保障室(GSI)長官	アウグスト・エレノ	陸軍退役大将
国防相	フェルナンド・アゼベド・エ・シルバ	陸軍退役大将 元陸軍参謀総長
法務相	セルジオ・モロ	パラナ州連邦地裁判事
科学技術相	マルコス・ポンテス	元宇宙飛行士 元空軍パイロット
農務相	テレザ・クリスチーナ	下院議員(DEM所属) 農業議員連盟会長
外務相	エルネスト・アラウージョ	外務省 米国・カナダ・米州局長
ブラジル中央銀行総裁	ロベルト・カンポス・ネト	サンタンデル銀行 ブラジル法人取締役
国営企業トップおよび主要経済官僚		
経済社会開発銀行(BNDES)総裁	ジョアキン・レヴィ	世界銀行専務理事 元財務相
国庫局長	マンズエト・アルメイダ	現職から留任

(出所)各種報道

図2：ボルソナロ次期政権の経済チームの陣容



(出所)各種報道からレッグ・メイソン・アセット・マネジメント作成

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。